

SV ミキサー 定期整備

機械が悲鳴を出す前に、定期整備で予防保全を！

【ドライブユニット】

SV ミキサーはスクリーを自転・公転させるためにウォーム減速機を2段重ねにした特殊な減速機を使用しており、上段が自転、下段が公転を受け持っています。

定期整備の目安

	ドライブユニット	公転軸
乾燥機	4年または20,000時間	2年または10,000時間
混合機	8年または40,000時間	4年または20,000時間

【公転軸】

缶内にある73°自転側公転軸ならびに90°公転側公転軸内ではベベルギアにより、回転方向を変換し、スクリーを自転・公転させています。

使用により、また経年により、歯車歯面、ベアリング、オイルシールおよびオイルシール当たり面は摩耗、劣化します。

未永く、トラブルなくご使用いただくために、定期的な整備を推奨しております。

モーター入力軸の摩耗

高速回転していますので、オイルシール当たり面が摩耗します。

スピーディースリーブを取り付けて当たり面を修復します。

ウォーム軸・ホイールの摩耗

使用により、歯面が摩耗します。摩耗が激しい場合には交換となります。

再使用の場合は歯当たりを再調整し組み込みます。

ベアリング・オイルシールの摩耗

消耗品につき、定期的な交換が必要です。オイルシールはゴム製品ですので、経年劣化します。

オイルシールの材質は内容物により選定します。

リップシールの消耗

内容物が公転軸内に進入するのを防ぎます。

摩耗が激しい場合は耐摩耗性の高いエクセライド製に交換することもできます。

自転軸の摩耗

オイルシールとリップシールの当たり面は摩耗します。

溶射補修あるいは新品に更新します。

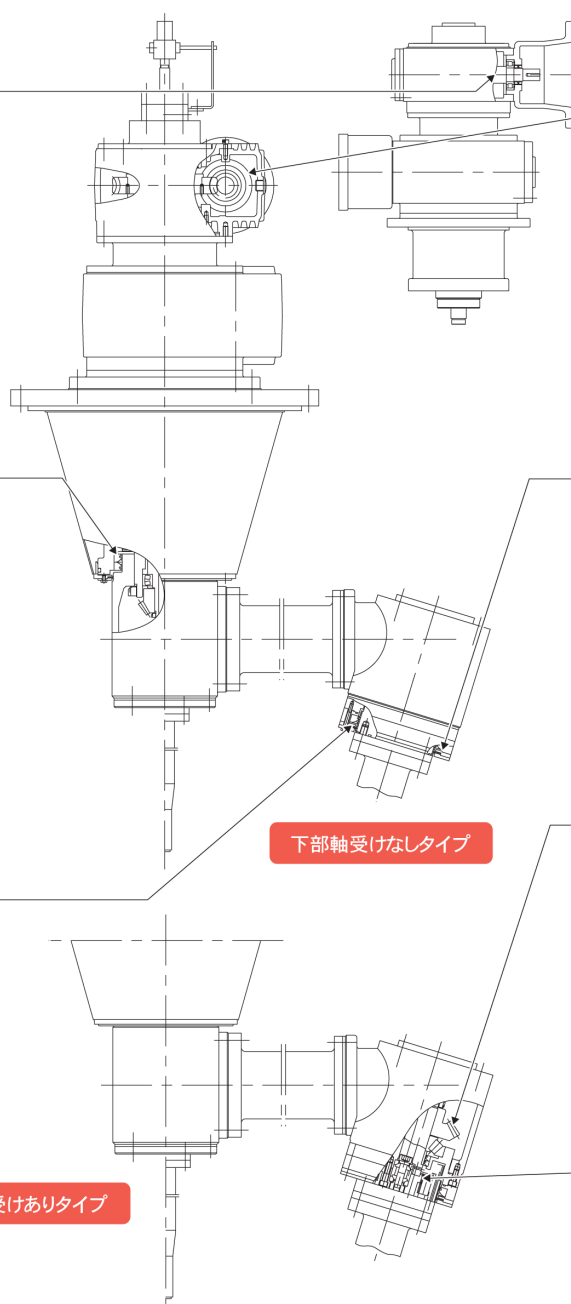
ベベルギアの摩耗

使用により、歯面が摩耗します。摩耗が激しい場合には交換となります。

再使用の場合は歯当たりを再調整し組み込みます。

ギアカップリングの摩耗

使用により、歯面が摩耗します。摩耗が激しい場合には交換となります。



下部軸受けなしタイプ

下部軸受けありタイプ

【整備の工程】

1. 交換部品手配

初回整備の場合は標準的な消耗部品（ベアリング、オイルシール等）を交換します。

2回目以降については、前回の整備記録を参照し、必要に応じた部品を交換整備します。

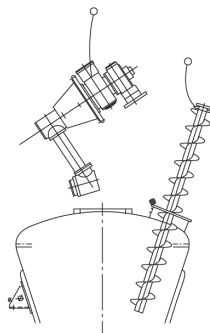
（自転軸等につきましては、納期がかかることがありますので、ご相談ください）

2. 現地取外し工事

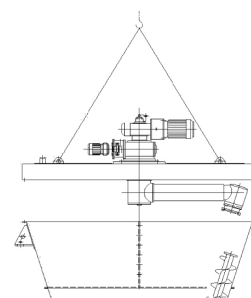
お客様の工場より、減速機およびギアボックス部を取り外し持ち帰ります。

下図の要領で取り外します。取り外し前に次の作業が必要です。

- ①減速機、ギアボックス内ともオイルを抜く。
- ②モーターの電気配線の解線。
- ③取り外しの邪魔になる配管の撤去。



乾燥機



混合機

3. 持ち帰り整備

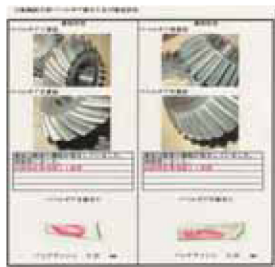
弊社の協力工場にて整備を実施いたします。標準的には2週間の工程です。

4. 現地取付け工事（試運転）

整備完了したドライブユニット、公転軸組立部を取り付け、試運転します。

5. 整備報告書の提出

整備内容の詳細、次回整備時の推奨整備についての報告書を提出します。



【ラジアルローケータ軸端、軸受の交換】

スクリー翼下部にラジアルローケータが取り付けられているSVミキサーについては、軸端、軸受の交換が必要です。交換時期については、内容物、運転時間により異なりますので、弊社までご相談ください。

